

# 約40年前から「生徒が自分で学ぶ」自立学習を提唱

## 生徒ごとに最適な学びができる 自立学習のためのデータベース教材 「Selfee」(株)日本コスモトピア



集団指導や個別指導とともに塾の形態として定着しつつある「自立型学習」。約40年前から自立学習を提唱し、自立学習のための教材「Selfee」シリーズの開発を続けてきたのが株式会社日本コスモトピア（尾上幸裕代表取締役、大阪府大阪市）だ。自立学習という言葉すらなかった時代にSelfeeがいかんして誕生したのか？ 中心となって開発に当たった下向峰子氏に開発の経緯や教材の特長、導入塾からの声などを伺った。



(株)日本コスモトピア 尾上幸裕 代表取締役

教室だけでなく、自宅でも使えるWEB型自立学習教材

Selfee Personal

※Windows PC、タブレット (iOS、アンドロイド) 対応

マルチメディア解説  
学習プリント印刷  
チャレンジテスト  
自己評価機能  
マイページ  
手書き機能

【学習の流れ】  
基本を確認 → マルチメディア解説を視聴 → チャレンジテストに挑戦 → 問題を解き、自己採点 → 自己評価の入力

【生徒管理機能】  
管理画面から、生徒の学習履歴、チャレンジテストの結果、自己評価の状態などを確認  
エクセルにダウンロード

© 2022 株式会社日本コスモトピア

「勉強ができる子はどんどん進んでいきますが、付いていけない子もいます。テストが嫌いで勉強すること自体好

学力定着のため、  
25万問を超える良問を準備

きじゃない子も多いけれど、勉強が嫌いな子どもたちも、ポテンシャルがないわけじゃない。それをどうやって引き出してあげるかが、教材を作る際に重視した一番のポイントでした」と下向氏。大事な機能ではなく、生徒たちのモチベーションをあ

げること。人が一番やる気を起こすのは自力で何かを解決できたときであり、教材でもそれを刺激していかないと考えた。  
基本があつて、まとめ、それから練習問題や応用に移るというセオリーをいったん否定し、一つひとつの問題



(株)日本コスモトピア 下向峰子氏

同社の前身は、1982年奈良県で設立した学習塾。当時は1クラス30〜40人を1人の講師が指導する一斉指導が主流だった。経営効率もよかつたが、奈良県は中学生の通塾率が国内トップという教育熱の高い土地柄。入学する高校でその後の進路先がほぼ決まってしまうような環境で、保護者からはより細やかな指導を求められるようになっていった。いち早く少人数制指導に移行するもの、今度は生徒一人ひとりにピッタリ合う教材が見つからない。「理想とする教材がないなら、作ってしまおう」と思い立ち、2年がかりで完成したのが「Selfee」シリーズだ。その後、幾度もの指導要

作りたいかっただけは理想の教材ではなく、自分で学習できる仕組み

領改訂とアップデートを経た今、多くの学習塾で導入されている「Selfee Class」は同社が制作した教材の中から選りすぐりのものを組み合わせ、学習塾運営に適したパッケージにしたシステムだ。メインとなるのはシステム上で好きな問題を組み合わせるプリントを作成したり印刷したりできるデータベース教材で、25万問を超える問題から生徒一人ひとりのレベルに合わせたオーダーメイド教材の作成が可能となっている。スマールステップのSelfeeオリジナルテキストを用いて基礎をしっかりと身につけた後は、基礎内容の定着を図るためのパターントレーニングやフィードバック、基礎問題パターンで徹底的に学習する。演習問題は生徒一人ひとりの進度・レベルに合わせた編集が可能で、着実に力がつくように設計されている。問題を終えた生徒は記載のバrcodeを読み取ることで次に必要な問題が出力される仕組みだ。問題の動画解説機能もあり、解説をじっくり見てより理解を深めるか、次の問題に進むか、生徒自身の考えで学習を進められる。自宅で予習や復習のために活用できるSelfee Personalではタブレット端末に対応しており、動画解説の視聴はも

ちろんのこと、手軽に習熟度を確認できる3択問題機能や問題を印刷せずに画面上に手書きできる機能も備えている。自宅で行った学習も先生が確認できる管理機能付きだ。Selfeeは現在全国約500教室で展開中。  
開発を始めた1989年頃は「子どもに教え込んで物事を覚えさせる」ことが指導であり、記憶力に偏差値でもあったため、学校でも塾でもやる気をなくし疲弊していく子どもが増えていた。オリジナル教材の開発を始めるとその風潮に対する疑問は一層強くなったという。「機械のように覚えさせることが果たしていいのかなのか？嫌だと思ったことを続けるのは辛いし、学ぶことを嫌いになつてほしくない。勉強が楽しい！もつとやりたい！」と自分から思ってもうちはどうしたらいいか？。辿り着いたのが、一方的に教え込むのではなく、生徒自らを選択し学習を進めていくスタイルで、先生は生徒が出した成果や結果を褒めて、励まして、認める、理解できた喜びや達成感を積み重ねて自信をつけさせていく指導方法だった。最初から「自立型」を謳っていたのではなく、理想を追求していった結果が「自立学習教材」となったのだ。



## 学年別 Selfee 実力診断テスト

診断テスト・採点システム・結果帳票・記録ノート・確認テストのセット販売！



実力診断  
テストの実施

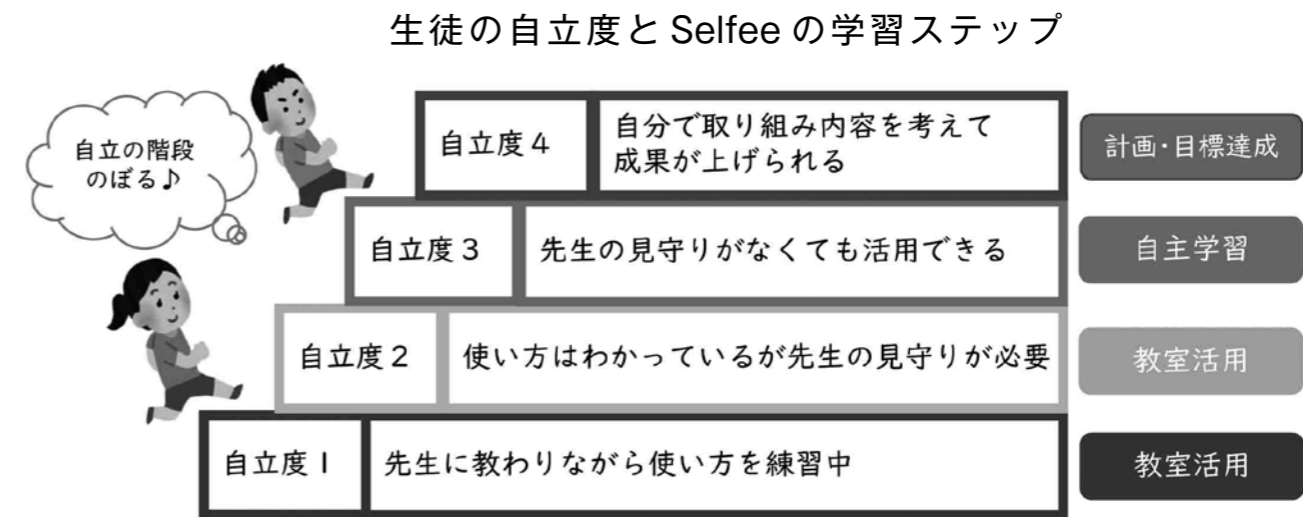
採点システム  
に結果入力

弱点・課題の  
対策指導

確認テストで  
成果診断

向かう力など、非認知能力を重要視  
しています。暗記、詰め込み型の教  
育ではおもに左脳を使いますが、非  
認知能力を高めるには右脳も使う必  
要があります。Selfeeの開発を

通して私たちは問題発見、課題解決  
力を育成することを意識してしまし  
た。ようやく時代が追いついてきた  
のだ！と感じています」  
「教えることが好きな先生も多いので



がどのような役割を果たす  
のか、どのような力がつく  
のか、なぜ分らないのか  
なぜそこつまずくのかを  
検証していくことから始め  
た。小さな達成感を積み重  
ね、自信につながるために  
スモールステップにこだわ  
た。教わった時は理解でき  
ても反復しないとすぐに忘  
れてしまうため、学習の定  
着には繰り返しが必要だ。  
同じような事柄に繰り返し  
接することで考えが醸成さ  
れ、1、2回では気づかない  
ことも3、4回と繰り返すこ  
とで気づきが生まれるのだ  
という。様々なレベルの生  
徒に合わせるため、大量の  
問題が必要だった。

結婚や出産を機に退職することが一般  
的だった時代、出産しても社会とつな  
がっていたいと希望する優秀な女性  
たちがたくさんいたのだ。ただ、優  
秀であるがゆえの苦労もあった。問題  
の解き方が分かっている人が教材を作  
ると子どもたちがなぜ理解できない  
のか、なぜそこつまずくのかがか分か  
らない。そのため、理系科目の教材は  
文系の方に、文系科目の教材を理系  
の方に担当に加わってもらったり、不  
得意な教科を聞いてその教科を担当  
してもらったりと工夫している。

「これで成績が  
上がらないわけがない！」と  
先生方が太鼓判

もともとSelfeeは基本的に先  
生がしたいと思うテストや生徒に合っ  
たプリントを出すという使い方を想

導入に際しては葛藤もあったと思  
いますが、「これで成績が上がらないわ  
けがない！」と多くの方がおっしゃ  
います。結果、たった1年で5教科  
450点を超える生徒が続出。お一人  
で80人の生徒全員の成績を上げた先  
生もいらっしゃいます」と、導入塾で  
の大きな成果を教えてください。

今後は  
クラウドへの移行を進め、  
円滑な塾運営をサポート

今後はまず、全般的にクラウド化  
を図りシステム改修でA-1を実装し  
管理機能を充実させる。また他のツ  
ールとも連携を図っていく、先生方が  
より使いやすい形に進化させる予定  
だ。全般クラウド化で、授業と管理  
を見える化し円滑な塾運営をサポート  
していきたい。

これからはSelfeeの認知度  
を上げ、さらに求めている人に充分  
な情報を届けることが重要だと考え  
ている。

これには1月より新社長に就任し  
た尾上幸裕氏（株式会社FCEEテクノ  
ロジーが全株式を取得し連結子  
会社化。尾上氏が両社代表取締役を  
兼任）の手腕にも期待したい。（株）  
FCEEエデュケーションは、全国の公

定し、先生が使うツールとして開発  
を始めたものだ。それにプラスして  
生徒の自主性を育みたいとの想いが  
当初からあったため、バーコードの仕  
組みは「自分で考えて選ぶ」を意識  
してほしくて導入したものだとい  
う。本来、ずっと座ったままの学習は効率  
が悪い。生徒たちが自分でバーコー  
ドを読み取り、席を立ってプリン  
トを出力したり動画を見たりするなど、  
ちよつとした行動の変化がいい刺激と  
なっている。

先生の役割が「教えること」から  
「生徒のモチベーションアップやフォ  
ロワーへと変わる」とや無学年方式で  
教科書準拠ではないスモールステップ  
が当初は理解されないことも多かつ  
たSelfee。今はこのスモールス  
テップが良いと高評価を得ている。要  
望の多かった教科書準拠のものは著  
作権の問題があり実現できなかった  
が、代わりに作ったのが「教科書対  
応」だ。テスト範囲を入力すると問  
題自体は教科書とは違つものの、必  
要な問題が出てくるといったもの。そ  
れからレベルを選択していく。これが  
思いの外好評だった。全ての教科書を  
網羅することは難しかったが、それ  
も国語以外のシエアの高い教科書には  
対応している。

立・私立学校、学習塾に  
対してリーダーシップ育  
成講座「7つの習慣J」  
や振り返り力向上手帳  
「フォーサイト」などを  
展開しており、同じ教育  
ICT分野において高い  
シナジー効果が見込まれ  
ている。

最後に「どんな塾、ど  
んな先生に使っていただ  
きたいですか？」と尋ね  
たところ次のような答え  
が返ってきた。

「現在導入されている塾  
の先生方は、ほどよい距  
離感で見守るので生徒さ  
んととても良い信頼関係  
を築かれています。卒業  
しても塾の先生に相談に  
来られることで、先生も  
それをとても喜んでおら  
れます。子どもたちに成  
果を出させてあげたい、  
達成感を感じてほしいと  
思っている方や子どもの  
ポテンシャルを信じてい  
る塾の先生方、子どもた  
ちの成長を喜びだと思  
てくれる方とやっていき  
たいと思っています」

■お申込み、お問合せ先

株式会社 日本コスモトピア

大阪本社  
〒532-0011  
大阪市淀川区西中島4-9-28 TAIYOセンタービル  
TEL 06-6390-2100 / お問合せ cijuku@cosmotopia.co.jp